

## 2 主な事業

### (1) 総会・研究大会等

#### ① 令和5年度福島県高P連総会

5月31日(水) 福島市・福島県青少年会館 大研修室

- ・ 理事及び単位PTA会長の出席68名、委任状27名、計95名で、定足数108名の過半数を満たした。
- ・ 提出5議案について、いずれも賛成多数で可決された。
- \* 例年、総会とともに開催している県大会は、7月に福島市で開催の東北大会と兼ねることとした。

#### ② 令和5年度東北地区高P連総会

6月14日(水) 盛岡市・ホテルメトロポリタン盛岡

- ・ 総会 理事・原前会長、新理事・鈴木会長の他、代議員3名及び事務局担当者3名の計8名が出席  
4年度の事業及び会計報告、5年度の事業計画及び予算案が可決された。  
役員改選においては、本県の鈴木会長が会長に選出された。(全国高P連の理事としての派遣も可決された。)
- ・ 委員会 健全育成、進路対策、調査広報の第1回委員会が開催され、活動計画等について協議が行われた。

#### ③ 令和5年度全国高P連総会

6月24日(土)、6月25日(日) 東京都・ホテル東京ガーデンパレス 他

- ・ 総会 鈴木会長が役員改選案に関する議決権行使書を提出。(その他の事項については一般社団法人のため、理事会で決定。全国高P連HP参照)(鈴木会長が理事に、大和田事務局長が賠償責任補償制度運営委員に就任)
- ・ 委員会 健全育成、進路対策、調査広報、研修及び賠償責任補償制度運営の第1回委員会が開催された。

#### ④ 第72回東北地区高P連福島大会

7月6日(木)・7日(金) パルセいいざか ホテル福島グリーンパレス

- ・ 情報交換会 385名の参加者  
\* 令和元年度の山形大会以来4年ぶりの開催
- ・ 大会 テーマ:「届けよう、エール～未来を切り拓く子どもたちへ～」  
研究協議:「子どもたちへのエール、私たちにできることは」  
6県代表による発表と質疑応答、指導助言  
(本県代表:会津高校・森田会長)  
講演:「東北の災害リスクと子どもたちの未来」  
気象予報士、防災士 斎藤恭紀氏  
表彰:4年度本県会長・副会長6名、広報紙コンクール入賞3校
- ・ 参加者 946名(本県からは63校、333名が参加)

⑤ 第72回全国高等学校PTA連合会大会宮城大会

8月24日（木）・25日（金） カメイアリーナ仙台 他

- ・ 大会 テーマ：「豊かな杜につむぐ虹の光」～しなやかな強さで生き抜く力～  
6分科会（基調講演、パネルディスカッション等）  
開会行事・表彰式  
記念講演：「伝わる言葉～失敗から学ぶ～」  
表彰：原正幸氏・郡山高等学校PTA（令和4年度会長・大会事務局校）、石川直哉氏（平成30年度会長・文科大臣表彰）
- ・ 参加者 1,916校・5,501名（本県からは25校、70名が参加）

(2) 理事会・委員会活動

① 理事会

第1回（5月10日・福島県青少年会館）

- ・ 令和4年度事業報告・会計決算報告について
- ・ 令和5年度事業計画・予算案について
- ・ 令和5年度総会並びに第72回東北高P連福島大会の運営について 他

第2回（7月26日・福島県青少年会館）

- ・ 令和5年度県教育委員会への要望活動について
- ・ 令和5年度の活動及び今後の運営について
- ・ 第72回東北地区高P連福島大会について 他

第3回（1月24日・福島県青少年会館）

- ・ 令和5年度生徒表彰について
- ・ 2024年度高校生総合補償の制度内容について
- ・ 令和6年度の活動及び運営について
- ・ 会費額の改定について 他

② 委員会活動

第1回合同委員会・第1回各専門委員会（7月26日・福島県青少年会館）

- ・ 各委員会の活動計画について 他

第2回合同委員会・第1回各専門委員会（1月24日・福島県青少年会館）

- ・ 各委員会活動のまとめ
- ・ 広報紙コンクール審査会（調査広報委員会） 他

(3) 各種要望活動等

① 「制服の適正な着用に向けた取組」「県下一斉服装指導」（校長協会、生活指導協議会、教育庁とともに展開）[P.6 参照]

- ・ 保護者向け依頼文書の配付（5月26日）
- ・ 「県下一斉服装指導」（6月1日、10月2日、主催は県教委、校長協会、生指協であるが、東北及び全国高P連の「登校時一声運動・マナーアップ運動」とも連動し、各単Pにおいても参加）

② 新規高等学校卒業予定者への就職機会確保の陳情 [P.7 参照]

- ・ 実施日 6月26日(月) コラッセふくしま(福島市)
- ・ 陳情先 県商工会議所連合会、県商工会連合会、県中小企業団体中央会
- ・ 参加者 鈴木会長(高等学校長協会代表とともに陳情を行う)

③ 県教育委員会への要望活動 [P.8 参照]

- ・ 実施日 9月6日(水) 福島県庁
- ・ 参加者 鈴木会長以下、副会長4名
- ・ 4項目からなる要望書を提出するとともに、県教委幹部との懇談を行った。

(4) 各種補償制度の運営

① 県高P連高校生総合補償制度・自転車総合補償制度 [P.9 参照]

- ・ 新入生の加入者数：2,795名(25.5%) ← ④ 3,452名(31.2%)

② 全国高P連賠償責任補償制度(全国高P連)

- ・ 加入校数：62校(77.6%) ← ④ 60校(75.4%)

(5) その他

① 関係団体と連携した活動・事業

- ・ 「4+1ない運動」(生活指導協議会) [P.10 参照]
- ・ 「制服の適正な着用に向けた取組」「県下一斉服装指導」(校長協会、生活指導協議会、教育庁、東北及び全国高P連とともに展開)
- ・ 「新規高卒者就職サポートプログラム」保護者研修会(県商工労働部、イノベーションコースト構想推進機構)
- ・ 「薬物乱用防止パンフレットの作成・配付」(全国高P連)

② 各種会議等の委員

- ・ 福島県立中学校・高等学校入学者選抜事務調整会議
- ・ 福島県新規高卒者就職促進対策会議
- ・ 教職員多忙化解消拡大プロジェクトチーム会議
- ・ ICT学びの変革推進会議
- ・ 福島県公私立高等学校協議会
- ・ 福島県青少年育成県民会議
- ・ 福島県生活交通対策協議会
- ・ 福島県地域公共交通活性化協議会
- ・ 福島県自転車条例推進会議
- ・ 福島県いじめ問題対策等支援運営協議会
- ・ 福島県子ども読書活動推進会議
- ・ 社会を明るくする運動福島県推進委員会
- ・ 北方領土返還要求運動県民会議
- ・ 福島県有害環境対策推進会議
- ・ 20歳未満喫煙防止対策連絡協議会

③ 名義後援等

- ・ 令和5年度「ダメ。ゼッタイ。」国連支援募金運動・県普及運動（県）
- ・ 大学・短期大学・専門学校進学相談会（栄美通信）
- ・ 令和5年度「ふくしま青少年育成セミナー」（県）
- ・ 令和5年度ふくしまを十七字で奏でようふれあい支援事業（県教委）
- ・ 令和5年度青少年健全育成県民総ぐるみ運動（県）
- ・ 第11回フラガールズ甲子園（NPOFG 甲子園事務局）
- ・ 薬物乱用防止教育認定講師養成講座（ライオンズクラブ国際協会 332-D 地区会）
- ・ 進学オリエンテーション・東北（栄美通信）